

プログラミング教材を使ってみよう

「ねそプロ」で生活や社会の問題を解決 補足資料①



「ねそプロ」 SNS を作ろう SNS のしくみを知り，プログラミングで SNS 作ろう <指導案>

情報交換するために、使いやすい画面の SNS を作成させます。ボタンが押されたときの作動をプログラムし、さらに、タイマーの機能を追加や、図の送信できるようにして、より便利な SNS を作成させます。「接続先アドレス」「セキュリティ番号」をクラス内で同じ値にして、メッセージ交換させて、アドレス等の意味について考えさせます。

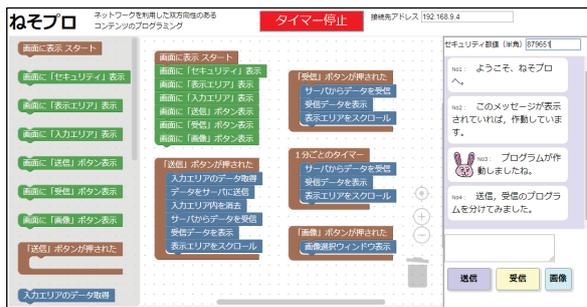


図1 ねそプロ「SNSを作ろう」完成

段階	学習内容	学 習 活 動	指導上の留意点等 *留意点 ★教材 ●評価
導入 8分	1. SNS の利用を振り返る	・ SNS 利用の経験について答える	★「ねそプロ」Web サイトのショートカットを作成しておく *SNS では、文字、画像などのコンテンツの送受信と共有をしていることに気づかせる ※メールは1対1 ※掲示板は全員 ※SNS は ID 等で一部に制限
	2. SNS サービスの特徴を考える	・メッセージを送信 ・メッセージを受信 ・写真（画像）を送信，受信 ・メッセージが来たことを通知 ・みんなで見る（共有できる）	
	3. 学習内容の把握する		
展開 32分	SNS のしくみを知り，プログラミングで SNS 作ろう		
	4. SNS を使うときの注意を考えてから、「ねそプロ」を起動	・個人情報を書かない ・他人を傷つけることを書かない ・知らないからの連絡はブロック	★注意事項を確認してから「ねそプロ」を起動させる
	5. 「ねそプロ」で SNS 画面を作る	・「画面に表示スタート」を置き その下に「画面に～」ブロックを置く ・「実行」を押して SNS 画面を作成	*ブロック移動後は「実行」を押さないと実行できないことを注意 *ブロック順を入れ替えて実行すると画面が変化することを確認させる ●SNS 画面を作成できた

